

第1章 日本におけるステーブルコインとその動向

第2章 米国GENIUS法の概要とその影響

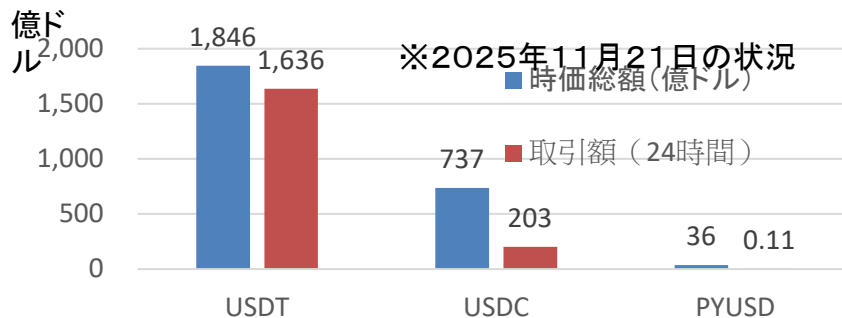
第3章 課題と期待について

第4章 ステーブルコイン利用拡大を投資視点から考える

ステーブルコインの分類

| 分類 | 担保方式・特徴 | 代表例 | メリット・デメリット |
|---------|-----------------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 法定通貨担保型 | 発行体が銀行口座等で現金や国債などを保有し、1:1で交換 | USDT, USDC, JPYC, PYUSD | 価格安定性が高い。発行体の信用・規制リスクあり。 |
| 暗号資産担保型 | ETHやBTCなどの暗号資産を過剰担保しスマートコントラクトで管理 | DAI, LUSD | 分散性・透明性が高い。担保資産の価格変動リスクが大きい。 |
| アルゴリズム型 | 担保資産を持たず、供給量調整等のアルゴリズムで安定化 | UST (Terra), FRAX | 柔軟な発行が可能であるが、信頼崩壊時の暴落リスクが高い。 |

主なSCの時価総額・取引額



※CoinMarketCapのHPから作成

ステーブルコインの概念簡略図

